

令和8年度 国際救援・開発協力要員 安全管理研修Ⅲ 開催要綱

1. 背景

近年、国際人道支援を取り巻く安全環境は複雑化している。赤十字では、活動と安全を一体的に捉え、安全管理を現場に近いレベルまで分散化するアプローチを採用している。このため、活動地で管理的役割を担う国際要員及び本社国際部職員には、それぞれの役割と責任を理解し、安全管理を実践する能力が求められている。

2. 開催目的

本研修は、国際人道支援活動における安全管理の基本的な考え方及び赤十字の安全管理アプローチを理解したうえで、活動地及び本社において管理的役割を担う職員が、それぞれの立場に応じた役割と責任を適切に果たし、安全を確保しながら活動を遂行できる能力を強化することを目的とする。

3. 学習目標

研修修了時に、参加者が以下を実践できることを目標とする。

- (1) 国際人道支援を取り巻く安全環境の特徴とリスクを理解し、自らの業務との関連性を説明できる。
- (2) 赤十字の安全管理アプローチと原則を理解し、活動と安全を一体的に捉えた意思決定を行うことができる。
- (3) 活動地及び本社における管理者としての役割と責任を理解し、関係者と連携しながら適切な安全管理を実践できる。
- (4) 安全に関する課題や事案に対し、状況に応じた判断と対応を行うことができる。
- (5) 安全管理に必要な知識・技能を、実際の業務場面を想定した演習やケーススタディを通じて活用できる。

4. 研修方法

本研修では、知識の習得そのものを目的とするのではなく、管理者として安全管理を実践できる能力の向上を重視する。そのため、講義に加え、ケーススタディ、グループ討議、シナリオ演習等を中心とした参加型学習を採用し、全日程を通じて「実践を通して学ぶ」ことを基本方針とする。

5. 主な内容

国際赤十字標準の安全管理者研修 (Security Management Training) の学習内容を基本とし、主に以下の内容を網羅する。

- (1) 国際人道支援を取り巻く安全環境
- (2) 国際赤十字の安全管理のアプローチと原則
- (3) 活動地及び本社におけるリスク管理体制
- (4) 安全対策と危機管理
- (5) 重大事案対応

※ 使用言語: 日本語 (一部の研修資料・映像は英語が含まれる)

6. 対象者

以下(1)～(2)のいずれかに該当し、かつ(3)の要件を満たすもの

- (1) 国際活動の活動地において、管理者としての立場での活動が想定される国際要員
- (2) 本社国際部係長級職員 (国際要員登録の有無は問わない)
- (3) IFRC Stay Safe 2.0 Global Edition: Level 3- Security for Managers 修了者¹

¹ IFRC Learning Platform にて受講 (<https://ifrc.csod.com/>)

7. 募集人数

20 名程度

8. 日時

令和8年 10 月7日(水)～10 月8日(木) 9:00～17:30

9. 会場

日本赤十字社本社 101 会議室

10. 申し込み方法

- (1) 以下 QR コードもしくは URL の応募フォームにより令和8年8月 21 日(金)までに国際部 企画課安全管理担当あて申し込むこと。

[2026 年安全管理研修Ⅲエントリーフォーム - フォームに記入する](#)



- (2) Stay Safe 2.0 Global Edition: Level 3- Security for Managers の修了証を 10 月2日(金)までに提出すること。

提出先: <mailto:kokusai-training@jrc.or.jp> (国際部 企画課研修係)

11. その他

- (1) 参加の可否について、申し込みのあった者全員に対し応募締め切り後2週間以内を目途に通知する予定であること。
- (2) 参加決定者については、追って申込時に記入したメールアドレス宛に事前準備等の詳細について連絡すること。

12 問い合わせ先

日本赤十字社 事業局 国際部 企画課研修係

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

Tel: 03-3437-7090 Fax: 03-3437-7509 <mailto:kokusai-training@jrc.or.jp>